



真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

1995-96年度国際ロータリーのテーマ

ハーバート G ブラウン
国際ロータリー会長

第2560地区 — 重田 政 信
ガバナー — 石橋 育 於
会 長 — 石橋 育 於
会長エレクト — 捧 賢 一
副 会 長 — 五十嵐 総 一
幹 事 — 松 谷 昊 吉
副 幹 事 — 五十嵐 昭 一
S A A — 清 水 良 一
副 S A A — 菊 池 涉

例 会 日 — 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び — 三条市旭町2-5-10
事 務 局 — 三条信用金庫本店
例 会 場 — TEL 35-3311
事 務 局 — TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	80名中 38名
先々週出席率	90.79 %
前年同期出席率	

先週のメイクアップ

4/13 会長エレクトセミナーへ
石橋育於さん

4/14 三条北RC10周年へ
五十嵐晋三さん、五十嵐昭一さん、
五十嵐寿一さん、内山辰策さん、
荻根沢隆雄さん、栗山淳一さん、
熊倉昌平さん、小林英雄さん、

小林敬典さん、近藤雄介さん、
斎藤 隆さん、斎藤弘文さん、
渋谷健一さん、渋谷正一さん、
清水良一さん、杉野奎司さん、
佐々木昌敏さん、高森章仁さん、
高橋政志さん、滝沢富雄さん、
外山一郎さん、外山雅也さん、
野村竹三郎さん、佐久間勝敏さん、
平原信行さん、広岡豊作さん、
藤田紘一さん、古沢富雄さん、
細井増雄さん、山浦日出夫さん、
渡辺勝利さん、渡辺宏策さん、

渡辺喜彦さん、小出子恵出さん、
山本恒男さん、中村和彦さん、
三堀正純さん

4/15 三条南へ

古沢富雄さん、吉井俊介さん、
斎藤 隆さん、菊池 渉さん、
松谷昊吉さん、樺山 仁さん、
渡辺弘栄さん、林 光輝さん、
瀬下一三さん、渡辺喜彦さん、
五十嵐総一さん

4/16 三条北へ

林 光輝さん、加藤紋次郎さん、
関本哲秀さん

4/16 田上あじさいへ

渡辺弘栄さん

会長挨拶

石橋会長

今程こちらへまいります道中大河津分水の桜はどうかと思って見てまいりましたが、まだ蓄みのようで、大変残念で御座居ましたが花よりだんごと言う諺もあります様に本日はこの寺泊日本海さんでの親睦例会でお酒、お料理でお楽しみ下さい。久し振りの夜例会と言う事で御夫人をはじめ多数御出席いただきありがとうございます御座居ました。又本日の御計画いただいた親睦委員会の皆様に感謝申し上げます。

ライフステーション

先日4月15日ライフステーション（重度障害者の生活訓練実習所）に対して設備拡充費として30万円を寄付いたしました。一度実際にご覧になればびっくりされると思いますが、7～8坪の部屋一室に通所者と介護者10人ほどで一杯と言う感じです。

部屋の隅にはトイレまでいけない人のためのホータブルトイレが置いてあり、頭の上には洗濯物も干してある有様です。建物の老朽化もひどく今どきこんな所だと思いましたが近い将来取り壊しになるのだそうです。

一方では行政の力で相当の設備の整った施設で保護されている人達がいるのに、この現実のギャップは何なのかと思わされてしまいます。

市への援助要請も思うにまかせず、人間らしく生きたい、生かせたいと創った施設と呼べないほどの施設であるがゆえにむしろ公の福祉の恩恵が受けられにくいとは何と言う矛盾でしょうか。

過日、三条北RCも10周年記念事業の一環でこの施設に対して50万円が送られる事にもなっています。

公の施設に対する援助は新聞等に取り上げられやすく目立ちますが、むしろ日の当りにくい所にこそ援助が続けられればと感じました。

代表の栗山貴美子さんは言葉も身体も不自由です。会話もこちらが慣れていな

いので良く聞き取りにくい部分もあります。でも「目は口ほどに物を言う」の例



え通りとてもきれいな主張を持った言葉を伝える目が印象的でした。



親睦委員会 五十嵐親睦委員長

今年度最後のグルメ例会になりました。
余すところは会長幹事慰労会のみであり

ます。
今晚は上座下座の分けもなく石橋会長のお骨折りで風呂に入りくつろいでご馳走頂戴したいと思います。

夫人同伴グルメ例会スナップ

於 寺泊「日本海」





新釈蜘蛛の糸 菊池 渉 会員 前回のつづき

(三)

御釈迦様はお浄土の蓮池のふちに立って、この一部始終をじっと見ていらっしゃいました。が、やがてカンダタが血の池の底へ石のように沈んでしまいますと、またぶらぶらお歩きになり始めました。後に従うように阿難がおそばに歩み寄って、

「もう少しのところだったのに、莫迦なやつだ。」といいました。

御釈迦様は何も御話にはなりません。

「カンダタにはまた地獄の苦しみが待っているんですね。」

阿難は静かにいいました。

御釈迦様は、

「阿難よ、切れるはずのないお浄土の蜘蛛の糸が、なぜ切れてしまったか、分かりますか？」と、阿難に問われてのでございます。

「自分ばかり地獄からぬけ出そうとする、カンダタの無慈悲な心が原因で、そうしてその心相当な罰をうけて、もとの地獄へ落ちてしまったのでしょうか。」

阿難は即座に答えました。

「それだけでしょうか？」

「はい、それと、蜘蛛の糸が切れるのではないかと、仏のお慈悲を疑ったことも一因でしょうか」

「では、カンダタはどうすればよかったのでしょうかね」

「他の罪人のことはかまわないで、一

心にのぼって来ればよかったのではないのでしょうか」

「他の罪人のことはかまわないで？」

「いや…、『これが救いの道だ』とほかの罪人たちにも勤めればよかったのでしょうか」

阿難は少し困ったようなようすで答えました。

しばらくの沈黙の後、御釈迦様は、

「阿難よ。あれでよかったのです。カンダタは救われておるのです」

と、阿難に聞かすというよりは、御自身に御聞かせるように、小さな御声で語られたのでございます。御釈迦様の御目から見ると、地獄の血の池に再び落ちたカンダタは、同じ地獄の苦しみに喘いでおるが、先程までのカンダタではない。とおぼしめ思召されたのでございましょうか。

お浄土の蓮池の蓮は、少しもそんなことには頓着いたしません。その玉のような白い花は、御釈迦様の御足のまわりに、ゆらゆら^{うてな}萼を動かして、そのまん中にある金色の^{ずい}薬からは、なんとも言えない好い匂いが、絶え間なくあたりへ溢れております。

お浄土はもう午^{ひる}に近くなったのでございましょう。 (終り)

例会案内

三条RC	4月24日例会	卓話	自衛隊新潟地方連絡本部	飯島矢素夫殿
	5月1日例会	卓話	山田富義会員	
	5月8日例会	卓話		
三条南RC	5月13日例会	卓話	若林幸哉会員	
	5月20日例会	クラブ・フォーラム		
三条北RC	5月14日例会	卓話	丸山誠一会員	
	5月21日例会	クラブ・フォーラム		